

野沢明夫の議員報告

茅野市湖東 4241 番地 TEL 0266-77-2058 FAX 0266-77-2052

- 『出会いの広場』の会事務局 〒391-0301 茅野市北山北大塩道 6891
TEL、FAX は同上です。 Eメール : akky4241@po30.lcv.ne.jp



9月議会の一般質問は次のような内容でした。

- ①エコライン開通に伴う芹が沢区内交通量緩和について。
 - ②地区子ども館の運営について。
 - ③公民館活動を地域コミュニティーにどう取り戻すか。
- 以上3点

①『エコライン開通に伴う芹が沢区内交通量緩和について』

平成19年9月議会、島立雄幸議員のビーナスライン渋滞と芹が沢区内152号の渋滞と幅員が狭い点を指摘した質問への部長答弁は「芹が沢区内を通らず白樺湖蓼科方面には案内標識をつけてエコラインを使っでの通行を誘導する」というものでした。

私たちはそのことによって区内交通量が緩和され、狭隘な部分での歩行者の安全性が高まると期待いたしました。その後、昨年末全線開通し、9ヶ月あまり経過した現在、区内の冬場のスキーヤーや、春から夏の入りこみ状況下での交通量は、ほとんど変わっていないと感じられます。そして、開通したエコラインについても、開通した部分を使用する車の量も少ないことが分かります。

- 市側の答弁は、開通路への誘導等サイン表示の予定は、県の予定として検討中で、大型のサイン等で区内へ誘導しない計画を示しましたが、実現の時期については明言しませんでした。

(県のサイン変更の予定)

- 北部分署の消防署手前の標識は、左折「白樺湖、蓼科高原」を消して直進させる。
- 左折してしまった場合は、芹が沢西の信号手前に「左折、上田、白樺湖、蓼科高原」を設置し、直進して区内への直進をさせない。
- 富士見方面からのエコラインを来ると299交差点「芹が沢南」の信号の手前標識には「白樺湖、蓼科高原」直進とあり、その先152交差点「芹が沢西」信号手前にはないのでほとんど右折して芹が沢へ入っていく。直進看板(市費にて)を設置してもらい直進させる。
- 白樺方面から湯川経由芹が沢へ入る、北山小学校をすぎて北部サービスセンター前の標識とその先の標識も「諏訪南IC」直進させず変則H交差点を左折させさらにすぐ左折ビーナスラインエコラインへ誘導。
- 蓼科から諏訪南富士見方面へは、芹が沢公園下の「諏訪南IC、富士見左折」誘導を直進させる。

(芹が沢旧料金所変則H交差点と湯川バイパス)

芹が沢旧料金所変則H交差点の改修、右左折ラインを作る等の考えは無いということなので、いずれにしても渋滞はそこに残ることになります。それゆえエコラインが白樺湖方面へストレートに延長することが重要ですが、湯川バイパスへの接続を含め、県への要望をしているところです。

②『地区子ども館の運営について』

コミュニティーセンターに併設されている地区子供館については図書館分室との関係において職員兼務で運営されています。子ども支援の政策として平成 15～17 年に市内に「屋根のある本のある公園」として設置されました。

（見守りとは）

どんぐりメイトが常駐していますが、決して子どもを預かったり、指導する人ではありません。ところで先般、横内の公園で幼児が O26 感染という事件が起き、公園管理上の水質検査等実施のニュースがありました。常駐する人がいなくても行政上の管理責任が問われるという例です。子ども館でサービスを受ける市民は、そこに臨時職員がいて「見守る」という意味から、多くの期待を持つようになります。しかし子どもの問題行動や事故には自身の責任が求められます。また未就園児は親子での利用が前提です。

（子どもの現場での事故の対応）

そこで事故などの対応はどうかというと、設置場所がコミュニティーセンターなので、対応は「コミュニティーの施設管理者」が対応するとの市側答弁でした。

（地域、学校との関係）

学童クラブの補完的利用の現状もあり、先生が積極的に訪れるケースもあり、反対に接点の無い地域もあります。また地域の大人が図書館利用とともに訪れ、子どもとの交流が期待される場所ですが、そういった公民館的活動実態は稀でまだまだ醸成されていません。「子ども館」の持つ公民館的活動とコミュニティーとの融合は、人的組織や制度を変えないと、うまく混ざり合わず出来ない気がします。

③『公民館活動を地域コミュニティーにどう取り戻すか』

（地域の拠点作り） 一体何回コミュニティー関係の質問をしたことでしょうか。そろそろ自分なりの提案として「地域コミュニティー運営条例」とか「地域コミュニティー組織条例」といった内容の提案をしたいと考えているところです。それによって公民館的活動や地域のつながりを目指す拠点作りをしたいと考えております。

質問の内容は●公民館と地区コミュニティーの位置づけを改めて問う。

●公民館活動と組織についてあるべき姿をどう考える？の2点です。

（公民館の現状）

この3月に教育委員会が社会教育委員会へ諮問した「公民館組織体制論議」のなかで、長野日報記事によると、市側の現状分析では「旧役場」のような地区コミュニティーの業務は多忙で、なかなか公民館活動まで手が廻らなくなっているのが現状、職員は兼務のため専門的な研修の機会が減ったり本館、地区館、分館との連携が取りづらくなっていることもあり「公民館活動は衰退ぎみ」としています。また出席者からは「地区コミュニティー運営協議会との関係もあいまい」「本館にすべて集約するのは難しい」「職員の業務の見直しが必要」などの意見が出たとあります。

（審議会への諮問）

審議会への諮問の中味は「今後の生涯学習社会の展開をみすえ、茅野市公民館の組織体制は以下にあるべきか」といういわゆる「白紙諮問」という形のもので、市側の意見や方向性をもった上での諮問ではありません。受けた方の苦勞が察せられます。教育委員会が「公民館」をどうするかという視点と、市長部局が「地区コミュニティー」の将来をどう考えるかという視点が大切で、「公民館」側、一方からだけの論議で充分でしょうか？

（公民館の役割）公民館は、社会教育施設で教育、学術文化に関する講座、講演会、

展示会、体育レクレーションを行い地域発展に寄与し、また地域課題解決のための学習活動の拠点と位置付けられています。茅野市の生涯学習の展開に伴い、地域における[福祉、環境、教育]の3重点分野の市民ネットワーク団体は、パートナーシップの手法によって地区コミュニティ運営協議会の部会を構成しています。しかし公民館は、一部会としての名はあっても、本来の幅広い公民館活動を担える体制、組織ではないことは明白です。

(コミュニティセンター)

コミュニティセンターは出張所機能(窓口業務証明書発行、徴税など)コミュニティ機能、公民館としての生涯学習機能を併せ持つ複合施設がうたい文句。職員は従前の1名から2名に増員し、市行財政改革推進プログラムの評価ではそのことで目的達成されたとの見解。職員は公民館の学習支援や連帯を深める支援、地域情報を聞き、地区コミュニティ運営協議会へ繋げる職務を担うとされています。しかし

(職員の多忙) コミュニティ職員は有給休暇や、振り替え休日も取れない状態。各種団体の事務局事務、と窓口業務、貸し館業務に追われ、とても上記の職務まで手が出ないのが現状。忙しい職員に地域課題の掘り起こしや、それに伴う学習活動まで踏み込む時間はないと見られます。

<私はこちら考える>

本来の公民館活動を支えるのは人、その人が足りない。人が足りないから手が廻らない。悪循環。地域コミュニティに地域の問題解決の活動を根付かせるには人の充実以外には無いと思う。そして公民館の組織と体制を検討するには、公民館側だけの議論では、枠組みとしての限界がある。コミュニティ側の市長部局や保健福祉サービスセンター、市社協、地区社協、地区子ども館(図書館分室)を含めた組織、制度を考える必要があるのではないか。

(市への要望)

パートナーシップの第二ステージといわれて何年が経過するのでしょうか? コミュニティや公民館に求められる全ての事業を抽出し、加えて「こういうことが出来たらいいな」「こういうこともやりたいな」という希望や夢を出し合ってもらおう。誰かが既存の枠組みやしがらみを捨て、大胆な発想が必要な時です。いまや「ビジョン」を語っている場合ではありません。的確なそれでいて少し痛みを伴う手法でも、示すべきは「一筋のヒントであり、アイデア」だと思う。そして「変革の制度と組織」をどう示すかだと思う。頑張ってくださいよ 市長! 私も議員連盟でヒントやアイデアを出して「地域組織条例案」にして出すので一緒に協議しましょうと言いました。

(市長返答):「是非そのテーブルにつく」と言って同調しました。「地域づくり政策研究会」は具体的なアクションを起こすべく仲間と早急に検討を始めます。

<ミニコミ情報>

- 「出会いの広場」のお知らせ: 「クリスマスパーティー」12月18日(土) 諏訪ミラノサローネ 200人規模で開催予定です。会のその他の企画開催情報は、「茅野市どっとネット」のホームページ「出会いの広場楽しい企画」をご覧ください。また特別企画で「北山浦独身者大会」のような企画を模索しています。女性集めがいずれもキーポイントです。
- 「湖東消防を考える会」: 湖東地区コミュニティ運営協議会で設置し、団員不足、各部での団員間の負担の差、本来の消防に求められる役割と自主防災組織との関係も考慮していくことになりました。この会議は決定機関ではなく、方向性や指針及び諸問題の解決策を各区自治会へ提案することが任務です。従って最終決定は現役団員と区長会に委ねられる事項だと考えております。

6月議会後から現在まで

(議員活動、公職、その他の役職の活動を含む)

6月27日	須栗平白山社例祭直会 市ポンプ操法大会	6日	市平和記念式典 地域福祉審議会
28日	ライオンズクラブ次期委員長会議	7日	茅野どんぱん
29日	諏訪湖浄化議連役員会同席 湖東地区御柱役員直会	10日	諏訪湖浄化議連湖上学習会
30日	ライオンズクラブ次期合同委員会	11日	林産業活性促進議連総会川上村
7月2日	小松正志様葬儀 宮下虎造様葬儀 諏訪地域新人議員懇談会19会 (認知症研修会原村縦の木荘)	17日	議会運営委員会 マレットゴルフ練習諏訪会場
4日	笹原区鹿狩神社例祭 新井区胡桃沢神社例祭 市読書サミット(欠)	18日	9月議会告示、一般質問通告
5日	出会いの広場の会理事会	19日	北部中学校薬乱防教室打合せ 県結婚支援ネットワーク説明会松本
6日	薬物乱用防止教室原小学校	20日	6市町村マレットゴルフ大会 湖東コミュニティ運営協議会消防防
9日	河西建設千親会親睦ゴルフ	21日	市戦没者等合同追悼式市民館
11日	出会いの広場PRキャラバン	25日	薬物乱用防止教室北部中3年 柳平よし様葬儀
13日	～16日社会環境委員会 視察研修石垣沖縄方面	26日	議会運営委員会 湖東地区福祉推進委員連絡会
17日	新井区草刈出払い(欠)	28日	茅野防犯組合連合会女性会
18日	市総合体育大会リトニ大会	29日	新井区木作り 須栗平区小宮祭
19日	三団体リトポール大会	30日	リトニ伊勢原協会交流大会 9月議会開会
20日	姉妹都市総社市来茅懇親会	9月1日	茅野ロータリークラブ結婚支援講演 湖東消防考える専門委員会
21日	北部中薬物乱用防止教室	2日	議案学習会
22日	議会運営委員会 区認可地縁団体説明会	5日	市防災訓練北中
23日	湖東教育を語る会	6日	議案質疑
24日	新井区御柱伐採	7日	北部六ヶ地区ゲートボール大会
26日	議会運営委員会、臨時議会、全協	8日	一般質問①日目
27日	北山湖東地区ひょう害調査 八ヶ岳寮アリス清明学園納涼祭 湖東地区防犯組合総会	9日	一般質問②日目
28日	リニアBルート促進大会	10日	一般質問③日目 予算決算委員会
31日	勅使川原一様葬儀 ロングモント市議会交流会欠 出会いの広場月例会長い夜	11日	湖東保育園運動会
8月1日	お舟祭り新井区(下諏訪)	13日	予算決算委員会
2日	ライオンズ受入学生案内	14日	予算決算委員会 地域福祉審議会
3日	ライオンズクラブ理事会、例会	16日	北中やつがね祭
4日	(有)野沢塗装店安全衛生大会	17日	社会環境委員会市社協視察
5日	3市議会リトポール大会岡谷	18日	湖東小学校運動会
		20日	出会いの広場の会理事会
		22日	9月議会閉会